

# 大阪市バス増便、路線復活を

橋下徹大阪市長が市民不在で進めている市バスの減便や路線の変更、赤バス(福祉バス)の廃止、敬老バスの有料化をめぐり住民の怒りの声が広がっています。

(大阪府・小浜明代)

## 市民運動広がる



乗り換えなしで行けなくなったバス路線



淀川区の「十三(じゅうそう)東」バス停で東淀川方面へ行くバスを汗を拭きながら待つ女性がいました。「20〜30分待ちます。足が悪いですから早く歩けないし、雨の日は大変なんです。これまでのバスがなくなってしまったんですよ。ため息をつくように語りました。

### 280より歩く手間

4月に廃止された路線は、西淀川区の歌島バスターミナルから淀川区の塚本、十三を通過して東淀川区の井高野まで3区を東西に一本で結んでいたバス路線



市バス路線の復活を求める署名への協力をよびかける(右から)日本共産党の寺戸市議、富田正府議候補11日、大阪市

## 足が悪くて…雨の日は大変。なんでなくしたの

共産党は陳情採択主張  
他党が「継続」に

に1〜2本しかありません。運悪く、乗り継ぎ時間があわなければ1時間近く待つことになり、「待ってられへんからタクシーに乗るけど、えらい不経済や」という声もあがっています。

署名運動は、淀川区塚本地域で日本共産党の党支部と後援会が消費増税反対署名で訪問した住民から「区役所に行くのに不便になった」と聞いたのがきっかけです。

署名集め協力 他党のポスターが張ってある家、自治会役員、自民党の後援会員など多くの人が署名に協力。「あんなとこしかこんなやってくれへん。橋下さんはいいと思っただけと年寄りいじめばかり。『都構想もあかん』いつ来てくれるのかと思っただけ」という人もいました。署名用紙を預かり、集めてくれた人は70人にのぼります。

市議会には大正区民の足を守る会(署名数2694人)、中央区の市民(署名数1015人)からも、減便によるきゅうぎゅうづめ

の状態の解消への増便や路線の復活、敬老バスの年間3000円と1回乗車ごとに50円の負担の撤回などの内容の陳情が出されています。

日本共産党の岩崎賢太市議は、市バス利用者の現状を突き付け、増便や路線の復活を要求。交通局は「十分な輸送サービスが提供できている」と事態や願いに背を向ける答弁に終始しました。

岩崎氏は「民営化ありきで採算性を最優先している」と交通局の姿勢を批判。「市民の足をしっかり守ることを第一にする公営バスとしての立場に立ち返るべきだ」と主張しました。

16日の市議会交通水道委員会では、日本共産党は陳情の採択に賛成しましたが、他党に「継続」とされませんでした。